

16、1、23 日刊工業新聞

大 馬 群
ルネサスの寄付講座開設

6月、工学研究科に

【前橋】群馬大学工学部は22日、ルネサステクノロジの寄付講座「ルネサステクノロジ先端アナログ回路工学講座」を工学研究科に6月に開設すると発表した。デジタル回路の高性能化・差別化を支えるアナログ回路関連技術の研究開発や人材育成を推進する。

群馬県は、大学主導の

研究会や関連企業の連絡協議会を発足させている。同講座の設置による研究機能の強化を地域内のアナログ技術振興につなげ、世界最先端の研究開発拠点を目指す。

群馬大は同講座を大学院工学研究科電子情報工学専攻に設置。民間の研究者2人を客員教授として招き、産学協同の教育

研究体制を敷く。

産業界からの要望である実践的技術者の養成をはじめ、先端アナログ回路に関する新技術の創出や応用駆動型の研究開発を進める。設置期間は3年間で、寄付金額は合計で約9000万円。

群馬大はアナログ技術者の研究教育を加速している。三洋電機と連携大学院の開設やアナログ関連の客員教授を招聘したほか、昨年10月には「アナログ集積回路研究会」を発足。

また、4月にはルネサスと連携大学院を開設する。同講座を加えた研究教育体制の充実を通じて、「アナログ集積回路設計センター」の設立も視野に入れている。